

第 6 回 まちのきこり人育成講座 活動報告

作成：井伊秀博 2011年 8月 7日(日)

1. 開催場所： 菰野町 県民の森
2. 開催日： 2011年 8月 7日(日) 9:00 ~15:00 天候：晴れ
3. 参加者 会員外：10名
会員：10名（蒲田、岡島、瀧口、瀧口朱、松永、市川、大石、裏川、水野、辻、井伊）
4. 内容
 - ・ 9:10~10:20
ふれあいの館 工作室で チェンソーによる伐倒 と題して パワーポイント講義（担当：井伊）
 - ・ 10:30~14:45
生産の森に移動して 準備体操の後、3 班に分かれてチェンソー間伐実習
1 班 3 名担当：井伊
2 班 3 名担当：辻
3 班 4 名担当：瀧口
林内で昼食後、時間まで間伐実習を実施
 - ・ 15:00~
ふれあいの館に戻り、全体のまとめをして解散

5. 活動写真

座学講義の様子。皆さん真剣な眼差しです！



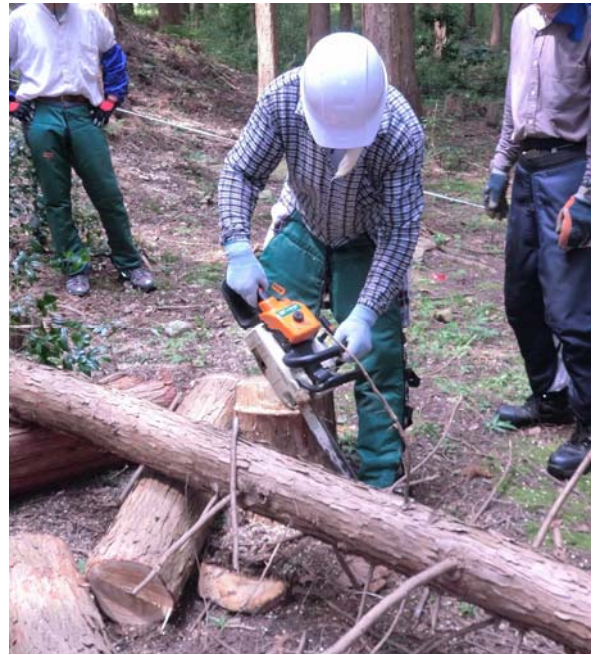
受け口を切る。構えは良い感じですね。



追い口切りいくよ！ ツルは平行に



伐倒木の枝を払う。慌てずゆっくりと。



6 感想と反省

- ・ 講義については、参加者から 「全く初めての人にとっては 話の状況をイメージするのが少し難しかったんじゃないかと思う」 という感想をいただきました。
これは その都度質疑応答で解決出来れば良いんですけどね。何をどう聞いていいかわからないということも あるかもしれません。
- ・ 1 班の場合、指導の進め方では、反省すべきことや改善したいことがたくさんありました。
 - ① 前回までの講習を踏まえた実習をしようとするも、ズレがあった
 - ② さらに一つ一つの所作の丁寧な指導、的確な言語化の必要性
 - ③ 緊張して 話が聞こえていない人へのアプローチ
 - ④ 使用するチェーンソーの事前のチェックをしていなかった。
- ・ チェーンソー間伐が初めての人にとっては、木はなかなか思うようには切れない、倒れないということは身を持って理解してもらえたと思いますが、
もう少し 気持ちよく達成感が得られるような内容でも よかったかなと思います。
いずれにしても、最低これだけは分かってもらうポイントを しっかり絞っておいて後は 状況に応じて調整する必要性を改めて感じました。
- ・ 実習では 担当外の会員にも各班に入ってもらいました。
付かず離れずのサポートは本当に助かるものですし、スムーズな進行、安全面からも有効です。 又、お互いの指導テクニックの勉強にもなります。

以上